

令和6年2月19日
市政変革推進室

北九州市政変革推進プラン（素案）に対する 市民意見の募集結果について

1 意見募集期間

令和6年1月16日(火)から2月9日(金) 25日間

2 意見提出状況

(1)提出者 16人

(2)提出意見数 42件

(3)提出方法

方法	電子申請	電子メール	郵送	持参
人数	8	5	0	3
件数	17	11	0	14

(4)意見の内訳

	項目	件数
1	全体に関すること	2
2	第1 北九州市が克服すべき課題	6
3	第2 直面する課題への対応	4
4	第3 市政変革の具体的な取組 (別冊1「変革に向けた個別項目ごとの考え方と工程表 (経営分析の進め方)」含む)	21
5	第4 今後の推進体制等	1
6	その他	8

3 意見の反映状況

	分類	件数
1	既にプランに掲載済	6
2	プランに追加・修正あり	1
3	今後の参考とするもの	12
4	プランに追加・修正なし	23

北九州市政変革推進プラン(素案)に対する市民意見の概要及び市の考え方(案)

【意見の反映状況】
 1:既にプランに掲載済
 2:プランに追加・修正あり
 3:今後の参考とするもの
 4:プランに追加・修正なし

番号	意見の概要	市の考え方	反映状況
全体に関すること			
1	「北九州市政変革プラン」と「新たなビジョン」との関連付けが十分でないと感じる。「北九州市政変革プラン」を、上位計画の「新たなビジョン」の下位に位置付け、例えば『「新たなビジョン」の実現に向けた、北九州市政の現状を踏まえた変革プラン」(対象年度:令和6～8年度)のようにすることで位置付けが明確になり、対応もしやすくなるのではないか。	北九州市政変革プランに基づき、市政運営そのものの変革に繋げることを目標とした市政変革の取組を着実に進めることで、新たなビジョン(基本構想)で示す「一歩先の価値観」を体現できる都市であり続けるための「基盤づくり」を行うこととしています。	3
2	横文字や新しそうな言葉が多く、一般市民向けの資料では無かった。	表現については、ご意見も参考にできるだけ分かりやすくなるように、用語集も添付しております。	2
第1 北九州市が克服すべき課題			
3	今の北九州市の状況は非常に残念。市長のリーダーシップで、将来への投資をしながら財政を立て直し、若者で賑わう街にして欲しい。	市長のリーダーシップのもと、安心安定した生活環境を次世代に引き継ぐべく、市政変革に取り組んでまいります。	1
4	子供達への未来応援資金1万人への投資がまだされていない。	市政変革で生み出した財源等を用いて「次世代投資枠」を確保し、若者や子ども等への投資、産業基盤の強化・創出への投資、公共施設などの老朽化対策への持続可能なまちづくり投資等を推進します。 具体的な対象事業については、毎年度、当初予算案にあわせて公表します。	3
5	高齢で運転される方が多く、不安を感じる。	北九州市政変革推進プランは、市政変革の取組を進めるうえでの基本原則等を示したものとなっています。 具体的な取組等へのご意見については、関係部局に伝え、経営分析における検討や、今後の施策・事業等の参考とさせていただきます。	4
6	公共施設については、本市が政令市の中では県立施設、民間施設が著しく少なく、その分本市の持ち出しが大きいという現実にも目を向ける必要がある。 福岡県は、県立施設(文化芸術分野に限らず)の福岡市及び西鉄大牟田線沿線自治体への偏在が驚くほど著しく、また、福岡市は、九州の中心として、銀行、電力、鉄道、マスコミ等の民間企業のホール施設も一極集中している。 市財政が厳しい中で県や民間の状況など考えず割り切って突進することもひとつの手法だが、単純に延べ床面積削減の議論だけをやるのではなく、施設分野別の特性や本市を取り巻く現状、県・民間を含めての他政令市との差異、などを十分に踏まえ、公共施設マネジメントの中を含め、綿密、慎重な分析・検討・対応を切に願います。	今後、市政変革の取組の中で、公共施設については、県立施設も視野に入れながら、データ等の合理的根拠等を踏まえ、真に必要な公共施設を安全に保有し続けることができる運営体制を確立していきます。	4

北九州市政変革推進プラン(素案)に対する市民意見の概要及び市の考え方(案)

【意見の反映状況】
 1:既にプランに掲載済
 2:プランに追加・修正あり
 3:今後の参考とするもの
 4:プランに追加・修正なし

番号	意見の概要	市の考え方	反映状況
7	市の財政が厳しいとよく聞かすが、なぜそうなったのか理由を聞きたい。かかり過ぎる費用を押さえ、なくしてゆくのとは当然のことである。	北九州市の財政が厳しいのは、①投資的経費の水準が他の政令市と比較して高い時期が長く続いていたため、その財源である市債の人口一人当たりの残高が、20政令市中最も多くなっていること、②少子高齢化の進展等に伴う福祉・医療関係経費の伸びや、公共施設等の老朽化にかかる維持補修費といった将来の財政負担が見込まれること等から、他の政令市に比べ財政基盤は脆弱と言わざるを得ない状況です。また、昨今の物価高騰や外壁落下等を受け、さらなる歳出膨張圧力が顕在化しており、財政に対する危機感を強めています。市政変革の取組を進めることで、歳入・歳出両面から財政の健全化を図ってまいります。	1
8	こんなに財政状況が悪いとは知らなかった。財政状況に対して危機感を持つべき。	北九州市の財政が厳しいのは、①投資的経費の水準が他の政令市と比較して高い時期が長く続いていたため、その財源である市債の人口一人当たりの残高が、20政令市中最も多くなっていること、②少子高齢化の進展等に伴う福祉・医療関係経費の伸びや、公共施設等の老朽化にかかる維持補修費といった将来の財政負担が見込まれること等から、他の政令市に比べ財政基盤は脆弱と言わざるを得ない状況です。また、昨今の物価高騰や外壁落下等さらなる歳出膨張圧力が顕在化しています。そのため、強い危機感を持って財政運営に取り組む必要があると考えております。	1
第2 直面する課題への対応			
9	挑戦を続ける機能的・機動的な市役所づくりを実現するためには、まず、都市圏連携の視点で、北九州市政を俯瞰することが大切である。都市経営の視点に立ち、北九州市から北九州都市圏にエリアを広げ、より大きな市場のなかで需給バランスを見直すことで、市政変革の機能的・機動的な施策が可能になる。都市圏連携の視点を追加することで、北九州空港の機能拡充・利用促進(周辺空港との役割分担)、上水道事業の発展的広域化、下水道事業の広域化・共同化などの施策を、北九州市政変革アクションプランにスムーズに結びつけることができる。	北九州市政変革推進プランは、市政変革の取組を進めるうえでの基本原則等を示したものとなっています。具体的な取組等へのご意見については、関係部局に伝え、経営分析における検討や、今後の施策・事業等の参考とさせていただきます。	4
10	公園がサビて古くなっていて、北九州市で子育てしたいと思えない。	市政変革で生み出した財源等を用いて「次世代投資枠」を確保し、若者や子ども等への投資、産業基盤の強化・創出への投資、公共施設などの老朽化対策への持続可能なまちづくり投資等を推進します。北九州市政変革推進プランは、市政変革の取組を進めるうえでの基本原則等を示したものとなっていますので、具体的な取組等へのご意見については、関係部局に伝え、今後の施策・事業等の参考とさせていただきます。	4

北九州市政変革推進プラン(素案)に対する市民意見の概要及び市の考え方(案)

【意見の反映状況】
 1:既にプランに掲載済
 2:プランに追加・修正あり
 3:今後の参考とするもの
 4:プランに追加・修正なし

番号	意見の概要	市の考え方	反映状況
11	借金の抑制は大いに結構。北九州市は道路やハコモノが多すぎる。次世代にツケを回してはならない。	北九州市誕生以降、当時の行政課題に応じ、旧五市地域の均衡を図りながら、公共施設の整備を進めてきましたが、施設の一部は既に老朽化が進んでおり、大規模改修や更新が必要な状況となっています。全ての世代が安心して暮らしていけるよう、真に必要な公共施設を安全に保有し続けることができる運営体制を確立していきます。	1
12	民間企業は初任給を上げて人材獲得に躍起になっている。北九州市役所も危機感を持って優秀な人材を獲得するために、抜本的な人事給与制度改革に取り組むべき。	選ばれる北九州市となるため、人材確保、人材育成、人事施策に体系的・戦略的に取り組み、職員の連帯意識(エンゲージメント)の向上や組織の活性化の好循環を目指してまいります。	4
第3 市政変革の具体的な取組 (別冊1「変革に向けた個別項目ごとの考え方と工程表(経営分析の進め方)」含む)			
13	子どもから高齢者に関するさまざまな課題への対策として示されるのは、対応する人を増やすというものばかりで、実現できるのか。特殊な技術系職員をも含め、職員はオールマイティでなければならない。日本が誇る中小企業に学ぶべき。	少子高齢化などの北九州市が直面する課題を克服し、未来に向かって都市の総合力を高めていくために、市民の皆様からの意見を参考に、市役所職員自ら課題を発見・分析し、市政に繋げていく必要があると考えています。そのためには、市役所が挑戦を続ける機能的・機動的な組織であることが重要であるとされており、人材確保、人材育成、人事施策に体系的・戦略的に取り組み、職員の連帯意識の向上や組織の活性化の好循環を図っていきます。具体的な取組等へのご意見については、関係部局に伝え、経営分析における検討や、今後の施策・事業等の参考とさせていただきます。	4
14	市政に対して、どれほどの提案が職員からあるのか。北九州市全体のことを見れる立場にあるのは職員の皆さんであり、国の制度を変えるような北九州市独自の施策を創り出してほしい。		4
15	人が変わらなければ、組織は変わらない。職員採用試験の在り方を十分に検討してほしい。宇宙飛行士選抜試験が参考になるのではないか。		3
16	「クレームは宝の山」と言われているが、市民が疑問だと思っていることをどのように市政に反映されているのか。	市政に関するご提案や苦情などを「市民のこえ」として受付し、関係部署にて市政への参考とさせていただきます。	3
17	クラスターの区分を見ると、縦割り行政の弊害を感じ、図書館が対象外であることが残念である。市立図書館の予算が他都市と比べて極めて少ない事実は、この素案にも全く言及がない。現状を容認せず、今後は、次世代のための予算として大幅に増やす施策に舵を切るべきである。	市政変革で生み出した財源等を用いて「次世代投資枠」を確保し、若者や子ども等への投資、産業基盤の強化・創出への投資、公共施設などの老朽化対策への持続可能な街づくり投資等を推進します。北九州市政変革推進プランは、市政変革の取組を進めるうえでの基本原則等を示したものとなっていますので、具体的な取組等へのご意見については、関係部局に伝え、経営分析における検討や、今後の施策・事業等の参考とさせていただきます。	3

北九州市政変革推進プラン(素案)に対する市民意見の概要及び市の考え方(案)

【意見の反映状況】
 1:既にプランに掲載済
 2:プランに追加・修正あり
 3:今後の参考とするもの
 4:プランに追加・修正なし

番号	意見の概要	市の考え方	反映状況
18	北九州市は公共施設が多すぎる。使っている人は限られているので、どれくらいの経費がかかっているのか明らかにして、使っていない人の意見も聞いて減らして欲しい。	今後、市政変革の取組の中で、公共施設についてもデータ等の合理的根拠等を踏まえ、真に必要な公共施設を安全に保有し続けることができる運営体制を確立していきます。その上で、市民の皆様や関連団体等に対し丁寧な説明や意見交換を行いながら、検討を進めてまいります。	1
19	【別冊1の「13 文化振興施策」について】 文化芸術は、一部のエンターテインメント事業を除き、稼げない領域がかなりの割合を占める。費用対効果が見えない、すぐに成果が測れない、というものも多くあり、文化芸術の研究分野でも、数値評価に代わる評価手法の検討が進められている。 一方で、「彩りのあるまち」「安らぎのあるまち」という重点目標にもつながるものであり、市のイメージアップ、都市ブランド向上、子育て日本一、移住者増、シビックプライド向上、地元愛の創出、子どもたちの情操教育などに大きく寄与している。 高齢者や障がい者、外国人などを含むすべての市民の生きがいづくり・健康づくり、さらにはまちづくりにつながるとともに、将来を担う子どもたちの人づくりにも大きく寄与する文化芸術について、単純にKPIなどの数値のみによって切り捨てることのないよう、強く希望する。	北九州市政変革推進プランは、市政変革の取組を進めるうえでの基本原則等を示したものとなっています。具体的な取組等へのご意見については、関係部局に伝え、経営分析における検討、今後策定を予定している文化芸術分野の個別計画や施策等の参考とさせていただきます。	4
20	企業の人材不足の課題に対して、プランでは具体的な改善策が分からなかった。	北九州市政変革推進プランは、市政変革の取組を進めるうえでの基本原則等を示したものとなっています。具体的な取組等へのご意見については、関係部局に伝え、経営分析における検討や、今後の施策・事業等の参考とさせていただきます。	4
21	将来的には起業を考えている。知人から北九州市は起業の支援が手厚いと聞いているので、引き続きスタートアップ企業への手厚い支援を期待している。	いただいたご意見については、関係部局に伝え、ご期待に沿えるよう、起業及びスタートアップ企業への様々な支援に努めてまいります。	4
22	政策目的別事業クラスター「観光施策」について、実質的には担当課にあげられている各課の事業(施策)と思うが、観光に関わる分野は幅広く、 ①「まちなみ」が魅力的か ②「食」がおいしいか ③芸術文化が魅力的か ④街の知名度アップ ⑤新たな観光スタイルの提供 など、都市のブランド化を図りながら観光客や交流人口を増加させるには、様々な分野からのアプローチが欠かせないため、観光政策として関係課の施策を体系化し政策目的の実現に当たって総合力を発揮する仕組みが必要と思う。多様な分野が関わることで、はじめて発展・充実するものと思う。	各事業クラスターの担当課については、現時点では主要な部署のみを記載していますが、今後、経営分析を進めるにあたっては、いただいたご意見も踏まえながら、関係する部署の幅広い参画を図ってまいります。	4

北九州市政変革推進プラン(素案)に対する市民意見の概要及び市の考え方(案)

【意見の反映状況】
 1:既にプランに掲載済
 2:プランに追加・修正あり
 3:今後の参考とするもの
 4:プランに追加・修正なし

番号	意見の概要	市の考え方	反映状況
23	<p>北九州市の新たな不登校生徒の居場所づくりとして、「子どもまん中教室の教室(仮称)」を立ち上げ。その教室が不登校生徒の早期対応につながり、その生徒の「安全基地」となり、不登校生徒の登校への不快感を弱め、登校動機を強めたい。また、チーム学校としての波及効果と教職員の教育的愛情を高める「意識改革」となり、さらには、特別支援学級生徒や多くの生徒にも、好影響を与えると期待できると信じている。 そして、退職教職員の再雇用として、人材の有効活用につながると考えている。</p>	<p>北九州市政変革推進プランは、市政変革の取組を進めるうえでの基本原則等を示したものとなっています。 具体的な取組等へのご意見については、関係部局に伝え、経営分析における検討や、今後の施策・事業等の参考とさせていただきます。</p>	4
24	<p>【別冊1の「49 歳入確保の取組」】 予算が厳しい状況はわかるが、一般の北九州芸術劇場や響ホールに係る提案型ネーミングライツのような、あたかも生活費に苦労して家財道具を売っているように周囲から見られる、都市ブランドイメージをも悪化しかねないような施策については、立ち止まって考え直す必要がある</p>	<p>北九州市政変革推進プランは、市政変革の取組を進めるうえでの基本原則等を示したものとなっています。 具体的な取組等へのご意見については、経営分析における検討や、今後の施策・事業等の参考とさせていただきます。</p>	3
25	<p>市民サービス向上のため競争性の確保を図るのは分かるが、市外大手企業を加えることで地場企業の仕事を奪うことのないようにして欲しい。 地元企業が倒産、転出するようなことがあれば、本末転倒である。</p>	<p>北九州市政変革推進プランは、市政変革の取組を進めるうえでの基本原則等を示したものとなっています。 具体的な取組等へのご意見については、経営分析における検討や、今後の施策・事業等の参考とさせていただきます。</p>	4
26	<p>職員との個別面談に際し、経験のない上司は部下に助言できない。特に、男性職員の定着率が低いのは、低賃金が大きな要因なので、公契約条例で職員を守る改善が必要である。あまりに、非正規職員ばかりの会社は、健全な組織ではない。 非正規職員の割合も、他業界の平均4割に近づけるべき。従業員満足度が低く、職員が大切にされていないように感じる。</p>	<p>北九州市政変革推進プランは、市政変革の取組を進めるうえでの基本原則等を示したものとなっています。 具体的な取組等へのご意見については、関係部局に伝え、経営分析における検討や、今後の施策・事業等の参考とさせていただきます。</p>	3
27	<p>制度を検証するなら、働いている職員から直にアンケートを取らないと課題が見えてこないと思う。 評価のやり方があまりに表面的ではないか。現場に年四回程度、足を運び、実態をみていただきたい。</p>	<p>北九州市政変革推進プランは、市政変革の取組を進めるうえでの基本原則等を示したものとなっています。 具体的な取組等へのご意見については、経営分析における検討や、今後の施策・事業等の参考とさせていただきます。</p>	4
28	<p>業務委託の場合も含め、契約の消費税が10%でも、経費削減効果があるのか素朴な疑問を感じる。 市職員(会計年度任用職員)を雇った場合と外部委託の比較を試算しているのか。 具体的な数字を示さずに、経費削減のために、指定管理と業務委託をやっているとされても、説得力がありません。今は経費削減になっていないと思う。</p>	<p>北九州市政変革推進プランは、市政変革の取組を進めるうえでの基本原則等を示したものとなっています。 具体的な取組等へのご意見については、経営分析における検討や、今後の施策・事業等の参考とさせていただきます。</p>	4

北九州市政変革推進プラン(素案)に対する市民意見の概要及び市の考え方(案)

【意見の反映状況】
 1:既にプランに掲載済
 2:プランに追加・修正あり
 3:今後の参考とするもの
 4:プランに追加・修正なし

番号	意見の概要	市の考え方	反映状況
29	<p>下関市のように、図書館の指定管理をやめると言いたいのではなく、市政変革推進室には、負の側面を考えていただきたい。 2005年(H17)全国に先駆けて導入した当時、「公的責任が果たせない」という内部の声があり、中央官庁も反対していて、全国の自治体から批判が上がった。日本図書館協会は、「図書館にそぐわない」という見解である。全国を見ると、実施した自治体でも、何が問題とされているかを掘り下げて考えていただきたい。</p>	<p>北九州市政変革推進プランは、市政変革の取組を進めるうえでの基本原則等を示したものとなっています。 具体的な取組等へのご意見については、関係部局に伝え、経営分析における検討や、今後の施策・事業等の参考とさせていただきます。</p>	4
30	<p>指定管理を導入すると、行政の中に図書館がわかる職員が退職していなくなる。 具体的に、説明すると 昨年9月に、システム更新と同時に、HPがリニューアルされたが、主なオンラインデータベースの名称が変わったのに、旧名称が記載されたままであることを市職員は知らず、関係する八幡・八幡西館の管理職もHPを知らなかった。(今は更新されている) 市の正規職員は、現場に身を置いていない、自分でデータベースを利用したことがないから知らないのだろう。 こういう実態であることを、ご理解いただきたい。</p>	<p>北九州市政変革推進プランは、市政変革の取組を進めるうえでの基本原則等を示したものとなっています。 今後も市と指定管理者の間で、施策・事業等に係る情報の共有を図り、市民サービスの向上に努めます。</p>	4
31	<p>現在の指定管理者を見直す際は、以下のことを十分検討してもらいたい。 ①現在の指定管理者と並行して他社が参入した場合、窓口が2社になることで市民の混乱を招いてしまい、市民サービスの低下に繋がらないかをしっかり検討すること。 ②現在の指定管理者から仕事を請負っている地元企業が、市外の企業が参入することによって、仕事が無くなり、倒産する可能性が高いことを十分検討した上で制度を見直すこと。 『市政改革アピール』のため、簡単に決めると取り返しのつかないことになる。 2つの企業が混在することによるデメリット(市の対応も含め)を十分検討すること。</p>	<p>北九州市政変革推進プランは、市政変革の取組を進めるうえでの基本原則等を示したものとなっています。 具体的な取組等へのご意見については、経営分析における検討や、今後の施策・事業等の参考とさせていただきます。</p>	3
32	<p>【別冊1の「51 指定管理制度の見直し」】 駐車場や地域体育館のような単なる貸館施設(ハード使用のみ、またはそれが主)については、その方向で良いと考えるが、ソフト事業がかなりのウェイトを占める類の創造型文化芸術施設については、提案型ネーミングライツの時のように単純に同じ土俵で扱うことはぜひやめていただきたい。 公益法人である自治体文化芸術財団は、民間として扱うべき。創造型文化芸術施設では、創造型事業に関わっている職員は、いわば美術館の学芸員のような専門職員で、自治体文化芸術財団が長年受託することにより、行政に代わって公演開催のノウハウやアーティスト人脈などを地元で蓄積させている。ノウハウの蓄積が弱くなった行政とともに、中・長期的な視点で、自治体の文化芸術振興を図っていく責務もある。創造型文化芸術施設に係る指定管理者制度の検討に際しては、他都市調査やその特性分析を十分に行い、上記提言や自治体文化芸術財団の担う役割等も踏まえ、単なる貸館施設と十把一絡げのような結果にされないようお願いする。</p>	<p>北九州市政変革推進プランは、市政変革の取組を進めるうえでの基本原則等を示したものとなっています。 具体的な取組等へのご意見については、経営分析における検討や、今後の施策・事業等の参考とさせていただきます。</p>	4

北九州市政変革推進プラン(素案)に対する市民意見の概要及び市の考え方(案)

【意見の反映状況】
 1:既にプランに掲載済
 2:プランに追加・修正あり
 3:今後の参考とするもの
 4:プランに追加・修正なし

番号	意見の概要	市の考え方	反映状況
33	政策目的別事業クラスターで示されている担当課の政策だけと捉えると、今以上に発展・充実させることの出来ない事業になる恐れがある。	各事業クラスターの担当課については、現時点では主要な部署のみを記載していますが、今後、経営分析を進めるにあたっては、いただいたご意見も踏まえながら、関係する部署の幅広い参画を図ってまいります。	3
第4 今後の推進体制等			
34	北九州市政変革推進会議の構成員に労働者の立場で意見を反映する者がいないので、企業労使が抱える問題点が把握できる「連合福岡・北九州地域協議会」を入れてほしい。	北九州市政推進会議の構成員としては、地方行財政・経済・法律・金融分野における専門的知見・変革を有する、地元経済団体や地元産業関係、大学の教授などを選定させていただいております。	3
その他			
35	市が介入し、北九州市が1番電力料金の安い街に出来ないのか。 また、水道料金についても1番安い街に出来ないか。	北九州市政変革推進プランは、市政変革の取組を進めるうえでの基本原則等を示したものとなっております。 具体的な取組等へのご意見については、関係部局に伝え、経営分析における検討や、今後の施策・事業等の参考とさせていただきます。	4
36	規制改革や許可制ではなく、届出制でOKとなる様なことをすればもっと事業がやり易くなるのでは。	北九州市政変革推進プランは、市政変革の取組を進めるうえでの基本原則等を示したものとなっております。 具体的な取組等へのご意見については、関係部局に伝え、経営分析における検討や、今後の施策・事業等の参考とさせていただきます。	4
37	紫川の「風の橋」モニユメントの利活用や、「風の橋」のイメージの発信を行ってはどうか。	北九州市政変革推進プランは、市政変革の取組を進めるうえでの基本原則等を示したものとなっております。 具体的な取組等へのご意見については、関係部局に伝え、経営分析における検討や、今後の施策・事業等の参考とさせていただきます。	4
38	人口100万人復活の為の少子対策提案として、安心して子供を産み育てられる社会環境の整備のため、日本随一規模の産科病院を建設してはどうか。	市政変革で生み出した財源等を用いて「次世代投資枠」を確保し、若者や子ども等への投資、産業基盤の強化・創出への投資、公共施設などの老朽化対策への持続可能な街づくり投資等を推進します。 北九州市政変革推進プランは、市政変革の取組を進めるうえでの基本原則等を示したものとなっておりますので、具体的な取組等へのご意見については、関係部局に伝え、経営分析における検討や、今後の施策・事業等の参考とさせていただきます。	3

北九州市政変革推進プラン(素案)に対する市民意見の概要及び市の考え方(案)

【意見の反映状況】
 1:既にプランに掲載済
 2:プランに追加・修正あり
 3:今後の参考とするもの
 4:プランに追加・修正なし

番号	意見の概要	市の考え方	反映状況
39	人口100万人復活の為に少子対策提案として、出産する女性に対して、上下水道利用料金の生涯無料化、第2子・第3子への強力支援、母子と専門医・相談員とのホットライン開設などの特典を準備してはどうか。	市政変革で生み出した財源等を用いて「次世代投資枠」を確保し、若者や子ども等への投資、産業基盤の強化・創出への投資、公共施設などの老朽化対策への持続可能な街づくり投資等を推進します。 北九州市政変革推進プランは、市政変革の取組を進めるうえでの基本原則等を示したものとなっていますので、具体的な取組等へのご意見については、関係部局に伝え、経営分析における検討や、今後の施策・事業等の参考とさせていただきます。	4
40	市立図書館(地区館・分館)の児童開架には、20年以上前に発行された図書類がある。うすくなって読めない背文字は汚い印象を与えるが、なぜ放置されているのか。 現場の館長に素人を任命しているので、不要な資料を除籍して更新するよう部下に指導できないからである。経験豊かな司書を任命している自治体では、それができている。(館長が司書有資格者であるかどうかは、毎年、公表されている。今年度は四名だが、昨年度まで、ここ五年は一名だった。)指定管理の図書館では、館長は全員経験のある司書を任命すべきである。	北九州市政変革推進プランは、市政変革の取組を進めるうえでの基本原則等を示したものとなっています。 具体的な取組等へのご意見については、関係部局に伝え、経営分析における検討や、今後の施策・事業等の参考とさせていただきます。	3
41	一見関係のないと思われる分野でも、「自分の仕事も関わっているという自覚」を市役所組織の構成員が持って「自学自習」しながら業務に当たることが必要かつ重要である。 その意識を持つことで、「気づき」が生まれ関係分野間での情報交換や共有、連携が図られて、思わぬアイデアや施策が生まれるかもしれない。そのことをプランに示す必要があると思う。	市役所職員一人ひとりが自ら課題を発見・分析し、社会経済情勢の変化も踏まえつつ、政策展開に迅速・柔軟に対応できる市役所組織となるため、人材確保、人材育成、人事施策に体系的・戦略的に取り組み、職員の連帯意識(エンゲージメント)の向上や組織の活性化の好循環を目指してまいります。	1
42	ソフト事業に目を向けても、福岡市では、福岡県や民間が主催する文化芸術事業が頻繁に行われているのに対し、北九州市では、福岡県主催の文化芸術事業はほぼ皆無で、民間の大型事業もソレイユホールやミクニスタジアムなどで少しという状況である。今年度の文化芸術事業に係る県予算を見れば、いかに偏っているかが一目瞭然。 その分、北九州芸術劇場や響ホールなどが、市の補助金、委託料などによって事業を行っており、これらを単純に削減すれば、福岡市との格差がさらに拡大するだけである。 行革をするのであれば、制度上既存の「県補助金活用事業」の不均衡だけでなく、「現実上の」不均衡是正にも踏み込む必要がある。 例えば、本市文化芸術施設の事業に県の助成や県主催事業を要請したり、市立施設を削減する代わりに県立施設を誘致することも検討すべきだと思う。 また、民間に関しても、民間主催ソフト事業の誘致をさらに進めるとともに、民間企業(特に、福岡市にホール施設を有し、社会貢献活動に力を入れている企業)からの補助、助成、協働なども増やしていく必要があると考える。福岡市から北九州芸術劇場や響ホールへの誘客も、危機感を持って、もっと積極的に取り組む必要がある。	北九州市政変革推進プランは、市政変革の取組を進めるうえでの基本原則等を示したものとなっています。 具体的な取組等へのご意見については、関係部局に伝え、経営分析における検討、今後策定を予定している文化芸術分野の個別計画や施策等の参考とさせていただきます。	4